

感染症発生状況

令和7年5月9日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年4月28日（月）～5月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 276名 【職員】 6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 69名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（109名）、咳・鼻水（69名）、下痢・腹痛（41名）、嘔気・嘔吐（10名）

疾病別：胃腸炎（22名）、伝染性紅斑（リンゴ病）（8名）、気管支炎・肺炎（4名）
溶連菌感染症（2名）

【職員】 症状別：熱（2名）、頭痛（1名）

疾病別：インフルエンザ（2名）、新型コロナウイルス感染症（2名）

感染症は落ち着いております。

【疾病別の発生状況】

胃腸炎	河北地区、盛南地区、河南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。
伝染性紅斑（リンゴ病）	盛南地区で増加しました。厨川地区、河北地区で減少しました。
気管支炎・肺炎	河北地区で増加しました。玉山地区で減少しました。
溶連菌感染症	河南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

【県の状況（4/21～4/27）】

百日咳の報告が47例ありました。今年に入ってから県の報告数は189例であり、昨年一年間の報告数（14例）を上回っています。全国でも患者数が増加しており、乳児の死亡事例も発生しています。かぜ様の症状と激しい咳が特徴で、1歳未満の乳児は重症化のリスクがあります。乳児への感染を避けるため、周囲の人は体調管理に気を付け、症状がある場合はすみやかに受診してください。予防にはマスクの着用や手洗いのほか、ワクチン接種が有効です。

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。

国内で麻しんが報告されています。海外渡航歴のある人だけでなく、渡航歴のない人も報告されており、輸入事例の増加が懸念されています。麻しんは空気感染し、人から人へ容易に感染します。手洗いやマスクのみでは予防できないため、ワクチン接種が有効です。また、渡航予定のある人は渡航先の流行状況も確認してください。

感染性胃腸炎は減少し、定点当たり患者数は7.39人でした。盛岡市、奥州、中部地区で報告が多くなっています。集団発生事例は教育・保育施設で5件あり、このうち4件でノロウイルスが検出されています。ノロウイルス等の胃腸炎ウイルスはアルコール消毒が効きにくく、患者の吐物や便の処理には塩素系消毒剤が有効です。その際は、換気も忘れずに行ってください。また、体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。

インフルエンザは前週から変わらず、定点当たり患者数は2.84人でした。学校等休業措置は6件ありました。引き続き、手洗いや咳エチケットなど基本的な感染予防対策をしてください。症状がある場合はマスクを着用のうえ受診をしてください。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】